

「SDGsリーダーシップ都市連合」への参加決定！

米国ニューヨーク市などとともに
SDGsの達成に向けた都市課題の解決を目指します。

横浜市は、米国の政策形成に大きな影響力を持つシンクタンク「ブルッキングス研究所」の主催により、SDGsの達成に向けた世界の先進都市によるネットワークとして、来年1月に設立される「SDGsリーダーシップ都市連合（SDGs Leadership Cities Alliance）」に参加することとなりました。

アライアンスには、ニューヨーク市（米国）、ロサンゼルス市（米国）、ヘルシンキ市（フィンランド）など、世界を牽引する都市も参加する予定であり、SDGsを通じた都市課題の解決に向けて取組を進めます。

なお、本件については、本日、日本政府が発表した『SDGsアクションプラン2019』において、地方におけるSDGs推進の取組として取り上げられています。

1 SDGsリーダーシップ都市連合の概要

- SDGsの達成に係わる先進的な取組を展開する世界の10都市程度が参加し、都市課題解決に向けた議論を行う。
- 米国有数のシンクタンク「ブルッキングス研究所」が主催し、来年1月に設立予定
- 事務レベル会合の他、市長級のハイレベル会合も予定
- SDGs関連の国際会議などの機会を捉えて、国連への成果報告も予定

2 都市連合の参加予定都市

- 米国内：ニューヨーク、ロサンゼルス、など
- 先進国：横浜、ヘルシンキ（フィンランド）、マルメ（スウェーデン）など
- 新興国：アフリカ及びアジアの各地域において1～2都市

【林 文子 横浜市長コメント】

このたびは、SDGsリーダーシップ都市連合に参加でき、大変光栄です。気候変動対策や女性活躍の推進など、SDGsの達成に向けて先駆的に取り組んできた横浜市の実績が、このたびの選定に繋がったものと思います。

「横浜市中期4か年計画(2018～2021)」において、あらゆる施策にSDGsの視点を取り入れ、オール横浜で取り組んでいます。世界的な研究機関が主催する都市連合への参加を通じて、都市の共通課題の解決に貢献し、「SDGs未来都市・横浜」を広く内外に発信してまいります。

お問合せ先

国際局政策総務課担当課長 関谷 聡 Tel 045-671-4700

裏面あり

(参考) ブルッキングス研究所について

- 1916 年創設。本部は米国ワシントン D. C.
- 創設初期には 1930 年代のニューディール政策を牽引
- ペンシルベニア大学による世界シンクタンクランキング総合 1 位
- 政治的には中立を掲げつつも、主に民主党政権に対して政策的な影響を及ぼすとともに、人材を輩出
- 2015 年 9 月の国連サミットで「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、SDGs が定められた際の、米国政府の首席交渉官等も研究員として在籍
- 著名なメンバーとしては、
米連邦準備理事会 (FRB) 前議長 ジャネット・イエレン氏
同 元議長 ベンジャミン・バーナンキ氏
IBM 元会長 故フランク・キャリー氏など



イエレン前 FRB 議長 (右) と
バーナンキ元 FRB 議長 (左)
ともに現在は
ブルッキングス研究所特別研究員